

アウトカム指標に関する主な意見(関西大学学生アンケート)

アウトカム指標名	意見		アウトカム指標への示唆
	具体的定義		

1.「都市の再生と交流ネットワークの形成(にぎわい近畿)」

1- 御堂筋や水の都大阪の再生などにより、まちのにぎわいを取り戻す。			
定期祭	2週に1回のペースで祭をする。	定期的な祭りの開催 祭りの開催数	
休日になると淀川でレガッタとかができ、十三の商店街が活性する。 道頓堀で水泳大会ができる	大学のヨットレースとかを淀川でする。	河川を活用したイベントの開催数	
淀川・道頓堀の水質改善	川の水質向上 水質の改善から着手するために、国内外で人が集まりやすい川をポイントに「あこや貝」などの水質改善海洋生物などをつかい、長期的、環境面にも配慮をしなければならぬ。	河川を活用したイベントの開催数 「あこや貝」など河川等における特定生物の生息数 生物の生息種類数	
道頓堀川の水を透明にし、魚を住まわせる	テレビで見たことのある納豆菌を利用して水の濁りをなくすという物質を利用して、水の濁りをなくす	特定生物の生息数 生物の生息種類数	
路上駐車を30%減少する	交通渋滞を解消させるため、駐車場を増やす	違法路上駐車数 違法路上駐車率	
水辺での憩いが増える	もう少し親しみやすい公園や、水上交通による人の移動を活発にできるようにする	水上交通の利用者数	
水の水質改善により、心理的变化がどれだけあったか	大阪に住んでいる人だけでなく外国人観光客にも、変化について調査する。	水辺・公園等のうらおい施設の心理的効果指標	
御堂筋の歩行者天国化	御堂筋を毎週日曜日だけ歩行者に開放して、多くの人に来てもらう	御堂筋の歩行者天国実施日数	
かけ橋指標	恵比寿橋のような橋をたくさん設置する	大阪の橋の数 大阪の橋を訪れる人の数	
1- 駅前の再開発、中心市街地の活性化、臨海部の活用などにより、便利で住みやすく、訪れる魅力にあふれるまちづくりを行う。			
出口案内(駅の)の点字の徹底	切符の料金表と同じように駅にある出口案内や、地図にも点字をつける。	ターミナル等における点字設置数	
待ち合わせ率	どれだけの人がそこを待ち合わせ場所に設定するか	ターミナル等における待ち合わせ人数	
南港や天保山のさらなる開発	お台場を目標にする	臨海部の集客数	
六本木ヒルズのように再開発することで話題性がUPし集客力を集める	話題性が人を呼び込み、また臨海部のテーマパーク化も良い活用法だと思う。	都心部の集客数	
駅前の違法駐輪の減少	駅前の再開発により、自転車、バイクなどの違法駐輪の数は減る。	路上駐輪数 路上駐輪減少率	
観光客をふやし、長い時間滞在する	臨海部、特に、USJの近辺にアウトレットショッピングモールをつくる。	観光客の滞在時間、滞在日数	
1- 都市圏の環状交通ネットワーク整備などにより、渋滞の解消を図る。			
スムーズな交差点の通過	もっと一般道路を立体交差にして、平面交差点での渋滞の解消につなげる。信号でのstop and goを減らす。	交差点の通過時間	
イライラ0道路計画	ストレスのない交通環境を作る	イライラする道路率	
さらばイライラ交通渋滞	新たな環状道路をつくることによりいろいろなルートからの行き来を可能にする	イライラする道路率	
1- 高速交通ネットワーク整備などにより、大都市と地方間、他のブロックへの移動時間の短縮を図る。			
バカンスにでかける人が増える	休みの有効活用	年間旅行日数 休日の出歩き率	
道ばたのゴミの減少	移動時間が減ることでタバコのすいがら、空き缶などがポイ捨てされることが減る	沿道におけるゴミ回収トン数	
料金所付近の渋滞の減少	ETCを使った多様な料金制度をととのえる	渋滞しない高速道路料金所率	
1- 近畿が一体となったブランドプロモーションなどにより、国際集客力の向上を図る。			
大阪弁の話せる外国人が増える。	やはり大阪でオリンピックを開催すべきだと思います。	日本語、大阪弁の話せる外国人数	
公共施設、示表などの整備の向上	多国語の看板や、地図など現在地や移動集団などをわかりやすくするような整備をする。	案内看板の設置数	
国際文化交流率	他国の文化などの交流がどれだけ出来ているか	来訪外国人の国籍数 文化的交流イベント数、参加者数	
近畿開催の世界的イベントを2倍増	日本有数の歴史ある近畿の魅力を再認識してもらう	来訪外国人の国籍数 文化的交流イベント数、参加者数	
アジア地域から集客力を向上	東京との差別化を図り、「物価の安さ、人情の都市」を関西のブランドイメージに。	アジアからの訪問者数	
土、日に淀屋橋を訪れる人が増える	淀屋橋にブランド店、レストランなどを誘致する	ビジネス街への訪問者数	
関空と京都・奈良との交通の簡素化により、顧客のスムーズな流れを生みだす 祭りをもっと発達させる	関空と京都、奈良間を1本化し、利便性を上げ、顧客に対しての満足度を上げる 岸和田や京都などの祭をもっと人の入りを増やす。	関空と観光地との公共交通アクセス時間 お祭りの参加者数	

アウトカム指標に関する主な意見(関西大学学生アンケート)

意見		アウトカム指標への示唆
アウトカム指標名	具体的定義	

2.「国際競争力に優れた産業の再生基盤の整備(産業活々近畿)」

2- 研究開発機能、産業機能及び高次都市機能の集積拠点となる地区の都市基盤とそれらを結ぶ交通ネットワークの整備により、「関西知識回廊」の形成を促進する

つくばの研究都市のようなものを形成し、交通の良さで普及させる	研究開発は重要であり、交通ネットワークとともに普及させる。	学術研究都市のアクセス関連指標
近畿圏の総生産を10%増加させる	近畿圏の総生産を10%増加させる	域内総生産
伝統工芸の見直しにより、消費者の関心を仰ぎ、消費を減加させる	日本の伝統工芸は世界に誇れるものであり、それらを再認識する必要が重要	伝統工芸品の販売額
	事業化あるいは製品化に結びつけた研究の数	産学連携から生まれた製品数 特許数

2- 交通や情報通信などの広域ネットワークの充実により、産業の活動基盤の強化を図る。

光ケーブルの100%普及する	高速の情報ネットワークの整備、インターネットの高速化	光ケーブルの整備関連指標
超高速近畿光ケーブルネットワーク	光ケーブルを近畿全体に張りめぐらすことにより情報の超高速化を実現する	光ケーブルの整備関連指標
情報の大阪をイメージづける	情報は人々にとっても必要なため企業誘致にもつながる	情報関連産業立地数 情報関連産業販売額

2- 拠点空港の着実な整備、コンテナターミナルの国際水準化などにより、国際ゲートウェイ機能の強化を図る。

迷子率	外国人の迷子(と云っていいのかわかりませんが)かがどれだけ減ったか。	外国人の迷子数 案内所を利用した外国人数
関西国際空港へのアクセス時間短縮	関西へのアクセスが限られているため、大阪湾から、または神戸方面からの経路を確保	関西国際空港アクセス時間の短縮 関西国際空港アクセス手段・ルート数
関西国際空港の使用頻度の向上	空港に至る交通路、手段の多様化	関西国際空港アクセス手段・ルート数
空港は国際基準に	シャトルバス、リムジンバス、空港利用料を下げる	空港アクセス料金

2- 港湾機能の強化とアクセス向上を図り、物流コストを低減する。

商品価格安価率	物流コストが低減されたことでどれだけ商品が消費者の手に安くなるか	物流コスト 商品価格に占める物流コスト率
河川を利用した物流を20%UPさせる	河川などの水路を利用し、低コストでの物流を実現させる	物流の河川分担率
物流コストと環境負荷の削減	大阪湾にある廃止された貨物線を整備し直して、さらに大型タンカーや貨物船が着岸できるように整える	港湾物流の分担率
貿易取引量の20%増加	物流コスト低減によって貿易を活性化させ、取引量を20%増加させる	外貿貨物量

2- 新事業支援施策の充実、構造改革特区など規制緩和の促進などにより、民の活力を支援する。

中小企業保護	市場に任すだけでなく、大阪に多い、大阪を支えてきた中小企業に資金調達しやすいように、国が保護する。	中小企業の開業廃業率 中小企業の出荷額
ホームレス優先採用	ホームレスを優先的に採用する特区をつくる	ホームレス数
新たな潜在している雇用が生まれる	民間企業に任せられる事業や、ベンチャー企業の支援をもっと増やす	ベンチャー企業開業率
有能な経営者の発掘、雇用増進	実現させたい夢を実現させる特区を建設、その事業を支援する	ベンチャー企業開業率
住民の「生」の声を聞く	その地域に住んでみて初めて気づくこともあると思うので、直接的に聞いてみる	PI回数
	新事業立ち上げ3年以内に黒字化できた企業数	新事業立ち上げ3年以内に黒字化できた企業数

アウトカム指標に関する主な意見(関西大学学生アンケート)

意見		アウトカム指標への示唆
アウトカム指標名	具体的定義	

3.「安全で安心できる暮らしの実現(セーフティー近畿)」

3- 地震、津波、洪水、高潮、土砂災害等の自然災害に備えるとともに、ハザードマップの公表や防災訓練などを通じ住民の危機意識の向上を図ることにより、総合的な防災対策を推進する。

会社共同の防災訓練。	一社、一団体ごとの防災訓練はよくあるが、近くの企業同士や団体同士の同時訓練をしてみたらどうか。	地域合同防災訓練実施数
防災訓練参加率	どれだけの人が防災訓練に参加しているか	防災訓練参加率 防災訓練参加者数
住民の90%が自宅の被害予想を知っている		自宅の被害予想認知率
地下ネットワーク収容施設(海岸線から～m、km以内)	臨海地区に地下施設を設けることによって、津波・洪水・高潮が発生した時の住民の生活を保障する	避難地認知率 避難地確保率
シェルター数	地域住民に自宅より数倍安全なシェルターを作り、認識させることで安心感向上。	避難地認知率 避難地確保率
子供にも分かるアニメの作	自然災害時に住民がどのように行動すればよいかを示した本やテレビを通じて危機意識の向上を図る。テレビアニメや特集などを組む。	避難地認知率

3- 広域防災拠点等の整備と広域連携体制の充実、防災情報ネットワークの強化、道路ネットワークの代替性の確保などにより、災害に対する広域的な安全性を高める。

近隣市町村の連携ができる	非常時の支援・消防などの派遣などスムーズにできるような体制を整える	防災体制のリダンダンシー関連指標
隣接する地域の連携体制の強化	隣接する地域で定期的に災害時の対策についての確認作業を行う	防災体制のリダンダンシー関連指標
消防車・救急車の移動改革	消防車・救急車が目的地に行くためには、路上駐車などたくさんの障害があると思う。1分1秒を争うことなので、人々への呼びかけなど改革に取り組むべきだ。	緊急車両が 分内で到達できる範囲
夜間パトロール強化指標		夜間パトロール関連指標

3- 地震時、火災時に大きな被害が予想される木造密集市街地の改善、浸水被害軽減のための雨水対策、まちづくりと一体となった堤防整備などを推進し、市街地の防災性の向上を図る。

消火器普及率95%	木造建物に限り、消火器の普及を95%達成する。 燃焼個の数(燃焼個は火事の発生を防ぐために役立つ)	事業所・世帯の消火器普及率 延焼防止機能を持つ街路延長
-----------	--	--------------------------------

3- 高齢者や障害者等に配慮した交通安全対策や、住宅、交通施設、官庁施設などのバリアフリー化を進める。

ボランティア補助による弱者の生活向上	ボランティアに少しでも資金を投入することによって、弱者に対しての生活援助、改善をしようというインセンティブを	スペトラ関連のボランティア数
利用者が選ぶバリアフリーモデル住宅の実施	バリアフリー住宅または施設を、利用者の視点からアイデアを募り、各地域ごとにモデルハウスの提案などにより、具体的な使用必要性を考えていく。	バリアフリー化満足度
盲人の為に点字ブロックの検査・設置	交通量の多い場所を中心に点字ブロックの検査を行い、破損している場合、新しいのに変える。	破損点字ブロック修復率
	点字ブロックは全て黄色に統一。交通弱者は全盲とは限らない。	点字ブロックの黄色率
高齢者の車の運転	交通施設の改築により高齢者でも気軽に運転できる	高齢者事故率
身障者の事故率減少、道路状況を改善	路駐自転車や放置自転車を除去し、身障者が安全に歩くことができる道を確保。特に商店街や駅前。	身障者事故率
段差、すき間ゼロ運動	駅や公共施設等で、階段や段差をどうしても通らなければならないような所は無くし、全てにスロープやエレベーターを備える。電車とホームのすき間も常に電車側から橋がかかるようなシステムを導入する。	車両とホームの段差解消率

3- 油流出事故などの重大事故やテロなどに対する危機管理体制を強化する。

テロ対策	大阪駅での監視員等の設置	ターミナルにおける監視員数
避難力の増強	非常口の数を増やす(大さの、地上へ下り脱出を目的)	地下街の非常口密度

アウトカム指標に関する主な意見(関西大学学生アンケート)

意見		アウトカム指標への示唆
アウトカム指標名	具体的定義	
4.「近畿の歴史・文化・風土を活かした地域づくり(多文化共生近畿)」		
4- 伝統的な街並みや美しい田園風景の保全・整備、歴史的遺産の保全・活用などにより、近畿の文化・風土を継承する。		
海外集客の増加	海外に宣伝・広告することにより、集客数を前年より増加させる。日本独特文化は日本人よりも海外の人の方が興味があると思うから。	訪問外国人の日本文化の認知率
若者に対し、伝統を知ってもらいその良さを知ってもらう	伝統的な文化・風土に対し、直接、目で見て、肌で感じ取れるような場を設ける	日本人の日本文化の認知率
在ることを伝える	そもそも遺産などがどこどこにあるということを知らない人がいるのであることを伝える”認知度 %上がった”	文化遺産の認知率
伝統教育指標	学校のゆとり教育の中に近畿の伝統を取り入れる	学生の日本文化認知率 日本文化の学校教育普及率
定期的にクリーン作戦の実地・継続	文化財周辺地域を中心としたクリーン作戦の展開(京都)	NPO等が関わる文化財率
4- 歴史・文化・風土に十分配慮した景観の形成など近畿の個性が光り輝く風格あるまちづくりを進める。		
建物の解体を今の半分に減らし、補修を促進する。		一定の強度を持った築 年以上の建築物数
初めて来る人にまた来たいと思わせる	伝統を守り受け継いでいく必要があると思うし、その時代によって、柔軟に対応することが大事	観光客のリピーター率
古都の古い家を残す	維持費がかかるので、費用をもっと国が負担する。そうすることで、景観が保たれる。	一定の強度を持った築 年以上の建築物数
4- 独自の歴史や文化を有するそれぞれの地域を結び交流・連携ネットワークを充実し、近畿が一体となった観光振興を図る。		
歴史や文化をめぐるあらたな交通ネットワークを作る	無料バスで(うちの地元で無料バスがあって便利だから)	無料で周遊できる観光地数
	至る所に点在する遺跡や史跡。それらすべてを網羅するくらいのガイドマップetcを作成。駅前など人の集まる場所には地域の歴史・風土を解説する立て看板を設置する。	文化財認知率 ターミナルにおける文化財の案内看板設置率
旅行プランをかかげ宣伝する	近畿の名所を巡る旅行を提供する。一早く人に名所をアピールできるのはツアーで旅行することである。	名所ツアーの商品数
	今は一つのキャンペーンやイベントが多いが、もっと協力して広範囲で行う。	府県を跨ぐツアーの商品数
案内マップによる円滑な観光めぐり	おのおの有名な場所とそこから違う有名な場所へ行けるようにアクセスのしかたをくわしく書いたマップを作る。よ次の場所へ行こうとすると道に迷うから。	観光地における周辺観光案内実施箇所数
4- 世界の人々を惹きつける国際交流拠点の充実にに向けた整備を行う。		
バイリンガル	観光案内板以外にも店内、交通機関内、など種々の施設に外国語を掲示し、親近感を持たせる。外国人のためのガイドの養成も行う。	外国人ガイド数
外国人の近畿の認知度の上昇	それぞれの地域が一体となって世界へ情報を発信、よく理解してもらえるようにセルフプロデュース	外国人の近畿の認知度
参拝料、入園料の価格を下げる	寺や神社、庭園や公園の参拝料・入園料の価格を下げることで、若い人からお年寄りまで、また観光客が気軽に観光できるようになる。また、リピーターの増加も見込	無料で見られる文化財数
路駐をなくす	無意味な(その地域に住んでる人にとってムダ遣いと思われる)公共事業をやめ、(格安の)駐車場をつくる。	観光地周辺の路上駐車数
空港から歴史への道の強化	関西各空港に観光スポットへの案内を出す、世界の人々が行きやすくなる。	関空における案内観光スポット数
4- 案内標識の多言語化や情報センターの整備、利用しやすい交通システムの構築などにより、国際性豊かな地域づくりを推進する。		
字を読まなくても、案内板に絵を多用する	「スーツケースを持った人はこちら」と書くのではなく、スーツケースの絵を大きく描く。	文字を読まなくても認識できる案内率 標準ピクトグラム採用率
	留学生などの力を借りて、旅行に来た様々な外国人に情報を提供、案内をしてもらう	外国人のガイド数
リピーター率の向上	標識が外国の人にもわかるように絵を描く。色をもっとつけて目立たせる。	リピーター率
	国際交流センターをふやす。外国人が気軽に立ち寄り、情報を知ることができれば、より楽しんで、安心して観光ができ、また住民とふれあう機会が増えると思う。	国際交流センター数 国際交流センター利用者数
駅で外国人が迷わない	駅員さんに語学ができる人(ネイティブ可)を置くorマニュアルを作り語学研修をさせる。	外国語が通じるターミナル率
他国の人向け(利用しやすい)の店・施設を増やす	日本語以外の数か国語でも施設を利用できるようにする(標識の多言語化は取りかかりにくい事業ではあると思うので、もう少し身近な部分を考えてほうがよいのではと思	外国語が通じる観光施設率

アウトカム指標に関する主な意見(関西大学学生アンケート)

意見		アウトカム指標への示唆
アウトカム指標名	具体的定義	
5.「水と緑の美しい環境の保全・整備(エコ近畿)」		
5- 干潟や水辺の再生、水環境や生態系の保全等により、自然との共生を図る。		
外であそぶ子供が増える	自然との共生で人々がもっと家の外での生活を楽しむようになる	河川・公園等の子ども利用数
	生物の多様性・数	生息生物の種類数
5- 身近な自然や公園などを活用して総合学習・自然体験学習の機会を提供する。		
登山者増加率	土日祝日などの登山者数がどれだけ増えたか？自然体験学習で自然に触れることで家族での週末の過ごし方が自然派へいくのでは	登山者数
教育カリキュラムの見直し	課外授業の確保、自然や公園などの整備	河川・公園での課外授業参加者数
	公園に花を植えたり、手入れをするのに、ボランティアで人を集め実行することにより、自分の公園を身近なものに感じるようになる	ボランティアで管理される公園数
荒山再生公園	近畿には多く荒れた山があるが、これをインフラ整備し、自然公園とする事により、子供達は、本当の自然に触れることができる。また、過疎地域振興にもなる。	自然的公園面積
5- 総合的な流域管理の視点から、流域圏を基礎とする森林から海に至る健全な水循環システムの構築を推進する。		
可飲度	普通の水道水がこれだけ飲みに過すようになってきたか	おいしい水道水の供給率
川魚が増える	水がきれいになることで川の中の生き物も増える	川魚数
水フォーラムの実施	夏行われた世界水フォーラムのようなイベント数をもっと増やす	環境関連イベント数 環境関連イベント参加者数
5- 静脈物流システムの確立などリサイクルの推進や未利用エネルギーの活用などにより、資源の有効利用を進める。		
身近にリサイクルBOXを	スーパーだけでなく、いろんなところに。	リサイクルボックス設置数
ゴミ分別の認知度	ゴミの分別の仕方がどれほど知られているかによる	ゴミ分別の認知度
ゴミ0エコ運動	家庭で出るゴミを0にする	家庭ゴミの減少率
ゴミリサイクル率	ゴミのリサイクル率を %上昇させる	家庭ゴミの減少率
5- 環境負荷が小さい交通体系の整備や沿道環境の改善、水と緑豊かな都市の実現などにより、都市環境の改善を図る。		
空気清澄度	どれだけ空気が澄んだものとなっているか	空気清澄度
河川を利用した水上バスの運行地域を年10%づつ拡大させる。	水脈を有効活用した地球にやさしいまちづくり	河川交通利用者数 河川交通整備延長
電気、水素、ハイブリッド車の利用	一般車の普及に電気、水素、ハイブリッド車のような環境にやさしい車を使用することを義務付ける。公共機関にも	エコカー普及率